

気温が低い日が続いています。体調を崩している人はいませんか。冬を元気に過ごすために、引き続き「早寝・早起き・朝ご飯」と、手洗いやうがいなどの感染症対策を心がけましょう。

冬の登下校には危険がいっぱい！

だんだんと積もっている雪の壁が高くなってきました。この時期に怖いのが雪に関する事故です。津南で生まれ育ったみなさんは「慣れてるし大丈夫！」と思っているかもしれませんが、油断は禁物です。登下校にはどんな危険がひそんでいるのか確認しましょう。



雪で道幅がせまくなっている



凍った路面での転倒

積もった雪で死角が増える



屋根からの落雪

傘や帽子で視野が狭くなる

流雪溝への転落

除雪機への巻き込まれ

など…

危ない場所には近づかない、動きやすい上着を着る、なるべく荷物はランドセルに入れて両手を空けるなど、安全に登下校するためにできそうなことをおうちの人と話し合ってみましょう。



「ポケットハンド」を
していませんが

「ポケットハンド」とはポケットに手を入れること。手が冷たくて暖かいポケットの中に入れてなくなる気持ちもわかります。

でもこの状態だと、自然と背中が曲がって姿勢が悪くなってしまいます。

もっと気を付けたいのが、転んだ時。手がポケットに入っていると、とっさに手



を出せず、歯が折れたり、頭をぶついたり、大けがにつながります。

「ポケットからすぐに出せるよ」と思うかもしれませんが、人が転ぶまでの時間は約1秒。でも人が転ぶと思ってから手を出すまでには3秒もかかって間に合いません。

寒い時は手袋をして、転倒に注意しましょう。



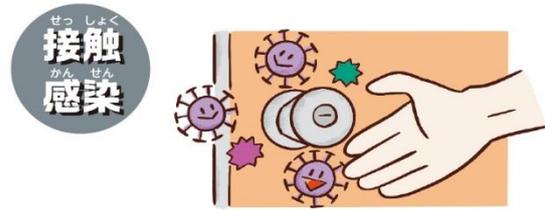
かんせんしょう ちゅうい
感染症にご注意を！

ウイルスはどこから来るの？

かぜ げんいん からだ ほうほう しんにゆう
風邪などの原因になるウイルスは、みなさんの体に3つの方法で侵入してきます。



まど しめき へや くうちゆう
窓を閉め切った部屋の空気中にはウイルスがたくさん漂っています。その空気を吸い込むと体にウイルスが入ってきます。



せつしよく かんせん
ドアノブなどたくさんの人が使う場所についていることが多いです。そこを触った手で口や鼻などを触ると体に入ってきます。



ひまつ かんせん
感染した人がせきなどをしたとき、唾と一緒にウイルスが飛び散ります。それを他の人が吸い込むと体に入ってきます。

ウイルスを
寄せ付けないためには、
換気と手洗い・うがい大切です。
こまめに行って、ウイルスを
追い払いましょう。

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症は、感染してしまうと重症化しやすい人（小さな子どもやお年寄り、妊婦さんなど）がいます。みなさんが感染対策をすることは、自分だけでなく、周りの人を守ることにもつながっているのです。これからも自分にできる感染対策を続けていきましょう。そして、体調が悪いときは我慢をしないで、大人に知らせてくださいね。

保護者の皆様へ

学校は集団生活の場であり、感染症が蔓延する可能性が高いです。引き続き、毎朝の健康観察をしていただき、体調がすぐれない場合には早めの受診をお願いいたします。医療機関を受診された場合には、結果についても学校にお知らせください。また、登校後でも体調不良時には、早退・受診をお願いすることがあることをご了承ください。感染症の蔓延防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

本日、冬休み明けの身体測定結果を配付しました。お子さんの成長をどうぞご覧ください。確認後、表紙ページの1月の欄に押印またはサインをし、1月24日（金）までに学校へご提出ください。